

7/19 議員説明会
資料 2-1

7月19日（金） 議員説明会資料

施設整備について

令和6年7月19日 尾道市教育委員会

設計業務の進捗状況 (R6.7.19現在)

令和5年12月 契約・事業着手

小学校・株式会社 村田相互設計
中学校・株式会社 K構造研究所

↓ 基本設計に係る検討

令和6年6月
7月 基本設計完了予定

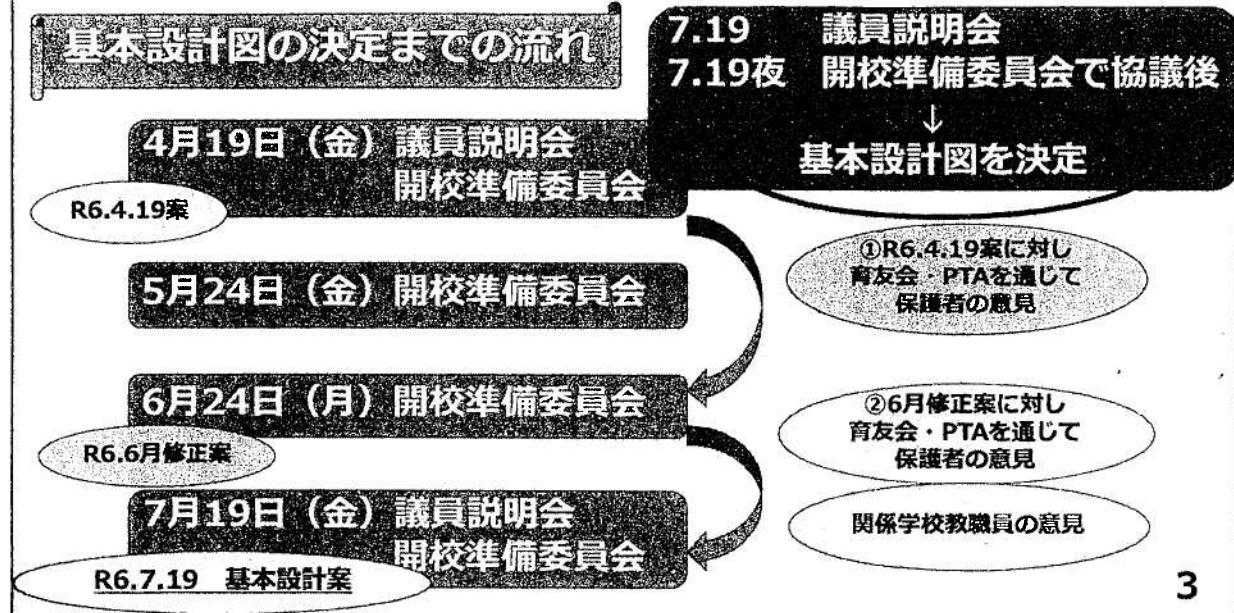
敷地内の建物配置（平面図）
建物の構造（RC、S造 ○階建て）
建物の規模（延床面積）

↓ 実施設計業務

令和7年2月
3月 設計業務完了

建物内の設備の検討・決定
工事発注に向けた数量の算定
工事設計金額の算定

設計業務の進捗状況 (R6.7.19現在)

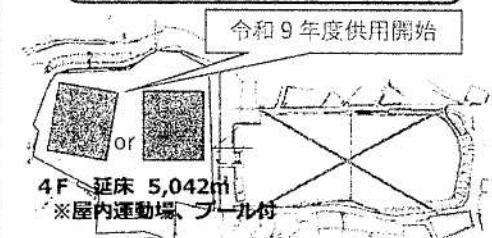


令和6年4月現在（基本設計案）

R6.4.19 説明会時

令和7年4月開校 → 令和9年4月新校舎使用開始

新しい小学校



新しい中学校



約600m²の縮減

合計（小中） 9,644m²

4

R6.7.19 小学校基本設計案

①校舎建築場所の決定（グラウンド敷地の西側）

②R6.5.1調査による普通教室、特別支援教室の数の決定



5

R6.7.19 小学校基本設計案

新校舎をグラウンド側敷地の西側にする利点

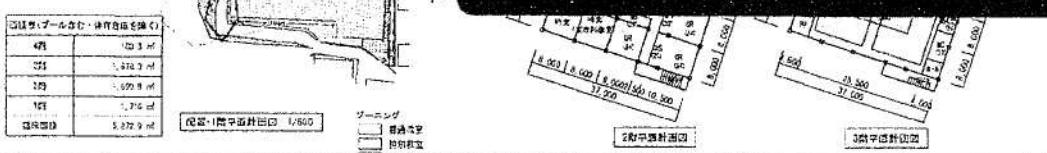
(1) 運動場内にトラックが大きく確保できる

(2) 職員室等からグラウンド側を広く見通すことができ
安全確保につながる

(3) 工事期間中の安全確保が優れている

※敷地東側（長江通り側）に配置する案の場合、工事期間中の
児童がグラウンドへ行く際、工事現場の横を通過する必要が
生じてしまう。

(4) 敷地東側（長江通り側）に配置すると、
都市計画道路の影響を受けやすい。



6

②R6.5.1調査による普通教室、特別支援教室の数の決定

10

※令和6年度の児童生徒数は、令和6年5月1日の児童数・生徒数に基づいて算出している。
 ※令和7年度以降の小学校入学者数は住民基本台帳の出生数に基づいて算出している。
 ※令和7年度以降の中学校入学者数は、前年度の小学校卒業者数に係る(0.92)を乗じて算出している。
 ※特別支援学級の在籍児童数は、令和7年度の在籍児童は全て通常学級に入学するとして算出している。
 ※小学校では、令和6年度6年生のみ40人学級となっている。

	R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12		
	人数	学級数	人波	人数	学級数	人波	人数	学級数	人波	人数	学級数	人波	人数	学級数	人波	人数	学級数	人波	人数	学級数	
尾道みなと小学校	小学校1年生	41	2	30	1	33	1	31	2	29	1	30	1	16	1						
	2年生	47	2	41	2	30	1	33	1	37	2	29	1	30	1						
	3年生	42	2	47	2	41	2	30	1	33	1	37	2	29	1						
	4年生	50	2	42	2	47	2	41	2	30	1	33	1	37	2						
	5年生	70	2	50	2	42	2	47	2	41	2	30	1	33	1						
	6年生	86	3	70	2	50	2	42	2	47	2	41	2	30	1						
	特 知的	10	2	8	1	8	1	6	1	4	1	3	1	0	0						
	特 支 自體	21	3	20	3	16	2	11	2	7	1	3	1	0	0						
	小学校計	367	18	308	15	267	13	247	13	228	11	206	10	175	7						

7

②R6.5.1調査による普通教室、特別支援教室の数の決定

・R6.5.1調査の数値
 →小学校：通常学級10 特別支援学級3

令和7年度新規開設予定
 通常学級増加の意向

6

②R6.5.1調査による普通教室、特別支援教室の数の決定

R6.5.1調査 尾道のみどり小学校

※令和6年度の児童生徒数は、令和6年5月1日の児童数・生徒数に基づいて算出している。
 ※令和7年度以降の小学校入学者数は住民基本台帳の出生数に基づいて算出している。
 ※令和7年度以降の中学校入学者数は、前年度の小学校卒業者数に係数(0.92)を乗じて算出している。
 ※特別支援学級の在籍児童数は、令和7年度の未就学児は全て通常学級に入学するとして算出している。

※小学校では、令和6年度6年生のみ40人学級となっている。

特別支援学級：8人で1学級

	R 6		R 7		R 8		R 9		R 10		R 11		R 12		
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	
尾道みどり小学校	小学校1年生	41	2	30	1	33	1	37	2	29	1	30	1	16	1
	2年生	47	2	41	2	30	1	33	1	37	2	29	1	30	1
	3年生	42	2	47	2	41	2	30	1	33	1	37	2	20	1
	4年生	50	2	42	2	47	2	41	2	30	1	33	1	37	2
	5年生	70	2	50	2	42	2	47	2	41	2	30	1	33	1
	6年生	86	3	70	2	50	2	42	2	47	2	41	2	30	1
	特 支 知的 特 支 自情	10 21	2 3	8 20	1 3	8 16	10 20	6 11	1 2	4 7	1 7	3 7	1 0	0 0	
小学校計		367	18	308	15	267	13	247	13	228					

9

R9年度の特別支援学級は
5学級になる可能性がある

②R6.5.1調査による普通教室、特別支援教室の数の決定

・R6.5.1調査の数値
→小学校：通常学級10、特別支援学級3



・基本設計案での整備数
→小学校：普通教室10 特別支援教室5

10

R6.7.19 小学校基本設計案

②R6.5.1調査による普通教室、特別支援教室の数の決定

普通教室10

特別支援教室 最大5
普通教室と同一フロアに

状況に応じて
特文 or 専科教室、カウンセラー室

8.4m教室を12教室整備

11

面積表・プール含む・体育館含む(㎡)	
G1	182.3 ㎡
G2	147.2 ㎡
2階	1,495.6 ㎡
1階	1,715 ㎡
屋外面積	5,172.9 ㎡

配置・1階平面計画図 1/800

2階平面計画図

3階平面計画図

(白井) 久喜・高江・土官校名小学校校舎新築工事 (設計監修団):

「補足説明」

これから求められる新しい学習環境に対応した施設

12

小中一貫教育校の教育内容について

グローバル

例) 英語教育やキャリア教育

ローカル

例) 地域の人々と協働して
主体的に問題解決を図っていく学び

知・徳・体のバランスのとれた
「生きる力」の育成

13

(1) ワーキングスペースによる学び合いの充実

- ・学級活動だけではなく、異学年や縦割り活動を仕組みやすく
なり、個や集団による学びをより充実させることが可能になる

例) 地域の人々と協働して、
主体的に問題解決を図っていく学び

(2) 専科教室等による教科指導の充実

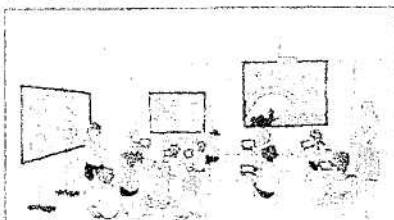
- ・英語教室等の専科教室により学びをより深めることが可能にな
る

例) 英語教育やキャリア教育

14

ワーキングスペースを備えた普通教室など

ii-1 関係: 多様な学習活動が展開できる空間

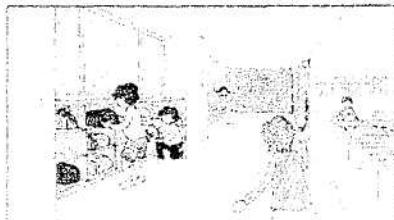


ii-2 関係: 学習活動に柔軟に対応できる多目的な空間



黒板に向かって学習する一斉授業だけでなく、グループ協議などで主体的に問題解決を図っていく学び

ii-3 関係: ロッカースペースの配置を工夫した空間



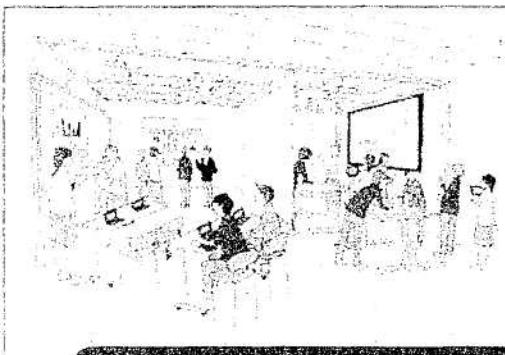
ワーキングスペース

84m²の普通教室

15

専科教室など

iii 関係: 高度な学びを誘発する創造的な教室

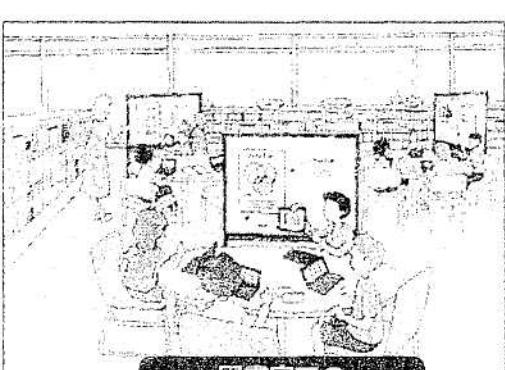


例) 英語教室

英語の掲示等による

普通教室より英語教育の充実した学び

iv 関係: 読書・学習・情報のセンターとなる図書館



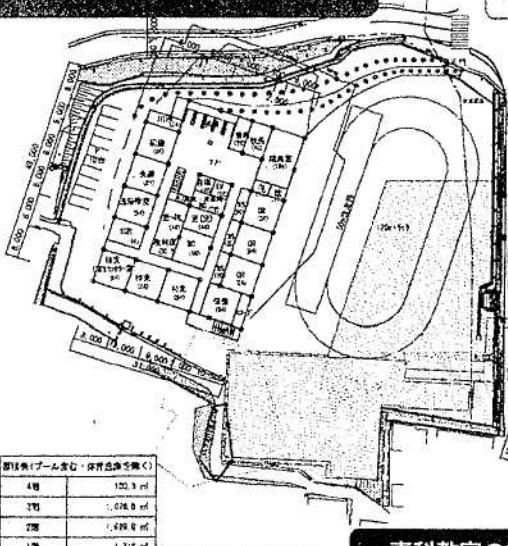
図書室での

グループワーク学習

16

R6.7.19 小学校基本設計案

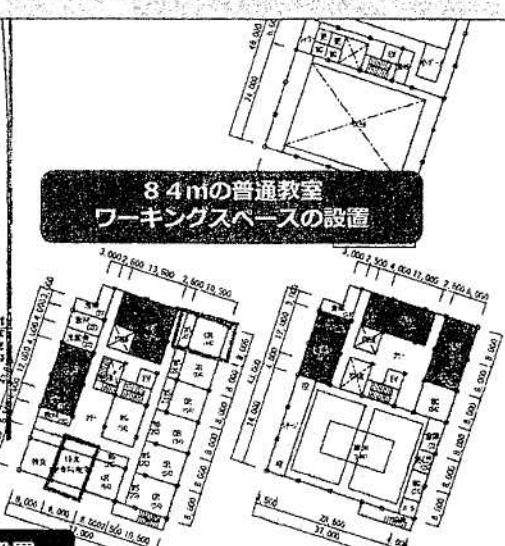
※新たな学習に必要な諸室整備



図面・1階平図計画図 1/600

専科教室の設置

84mの普通教室
ワーキングスペースの設置



図面・1階平図計画図 1/600

2階平図計画図

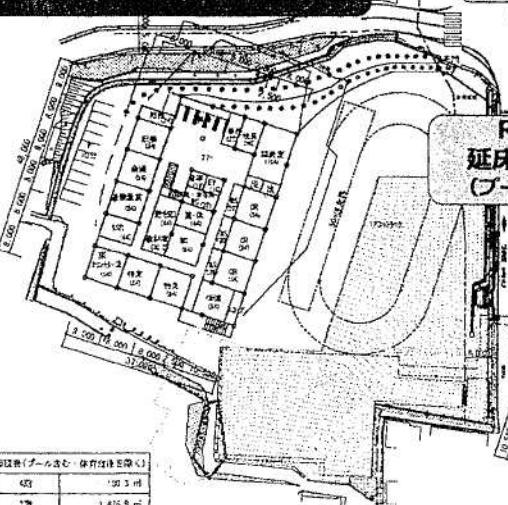
3階平図計画図

17

R6.7.19 小学校基本設計案

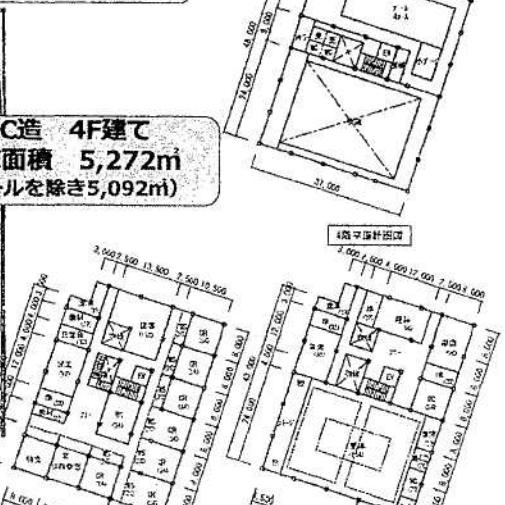
別添図面参照

RC造 4F建て
延床面積 5,272m²
(プールを除き5,092m²)



図面・1階平図計画図 1/600

ソーニング
● 体育室
■ 体育室
□ 体育室、その他の



図面・1階平図計画図 1/600

2階平図計画図

3階平図計画図

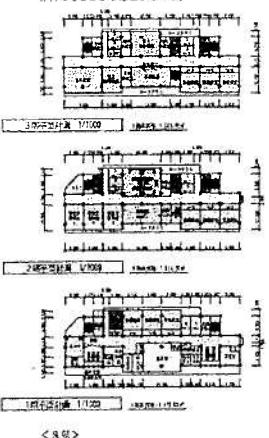
18

(資料) 久保・長江・土木学会小学校設計指針工事 (資料文部省)

R6.7.19 中学校基本設計案

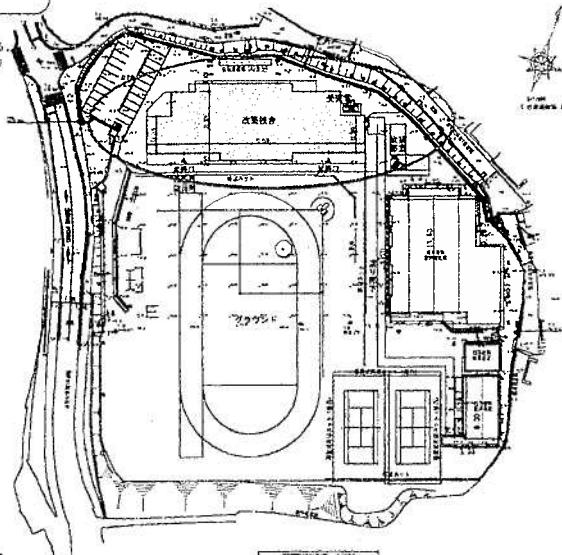
生徒たちが安全で安心な学びの場を提供するため、建物の構造や設備、外観などを工夫して設計されています。

建物内に多様な学習環境が用意され、各学年とのつながりを保たせることを意識している。



【凡例】

- 普通教室
- 特別教室
- 管理室
- トイレ
- 廊下・階段
- 教室内・廊下・階段

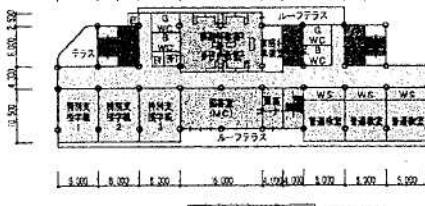


19

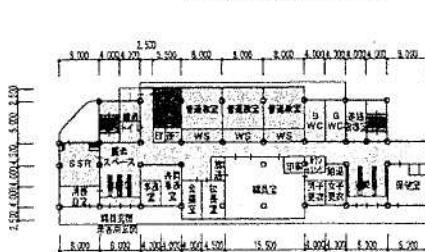
R6.7.19 中学校基本設計案

修正点

①R6.5.1調査による普通教室、特別支援教室の数の決定



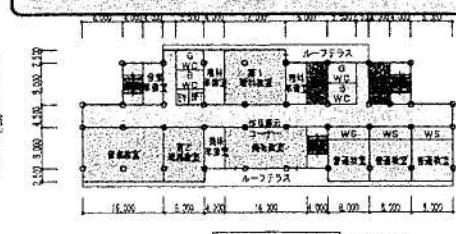
②普通教室の配置の変更 (1F・2F・3Fへ分けて配置)



③第2理科室の設置

④SSRの配置・大きさの変更

部屋	面積
3階	49.20 m ²
2階	1,517.60 m ²
1階	1,517.60 m ²
計	4,552.80 m ²



20

①R6.5.1調査による普通教室、特別支援教室の数の決定

R6.5.1調査 尾道みなと中学校

※令和6年度の児童生徒数は、令和6年5月1日の児童数・生徒数に基づいて算出している。
 ※令和7年度以降の小学校入学者数は住民基本台帳の出生数に基づいて算出している。
 ※令和7年度以降の中学校入学者数は、前年度の小学校卒業者数に係数(0.92)を乗じて算出している。
 ※特別支援学級の在籍児童数は、令和7年度の未就学児は全て通常学級に入学するとして算出している。
 ※小学校では、令和6年度6年生のみ40人学級となっている。

	R 6		R 7		R 8		R 9		R 10		R 11		R 12		
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	
尾道みなと中学校	中学校1年生	103	3	114	3	114	3	87	3	75	2	74	2	63	2
	2年生	140	4	103	3	114	3	114	3	87	3	75	2	74	2
	3年生	106	3	140	4	103	3	114	3	114	3	87	3	75	2
	特別支援 知的	7	1	7	1	7	1	4	1	5	1	6	1		
	特別支援 自閉	8	1	7	1	7	1	10	2	13	2	13	2	11	2
	中学校計	364	12	371	12	345	11	329	12	293	11	254	10	229	9

21

①R6.5.1調査による普通教室、特別支援教室の数の決定

・ R6.5.1調査の数値
 →中学校：通常学級9、特別支援学級3

・ 基本設計案での整備数
 →中学校：普通教室9、特別支援教室3

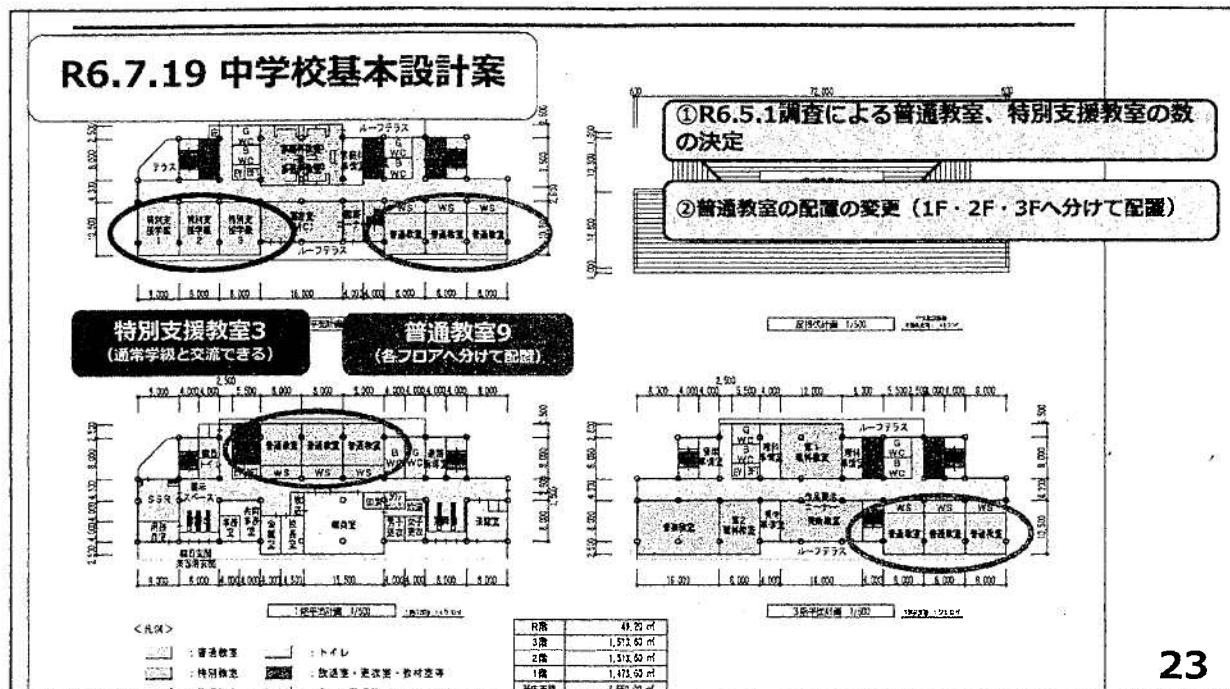
各学年段階における
 特別支援学級の状況
 が把握できる

②普通教室の配置の変更（1F・2F・3Fへ分けて配置）

・ 2Fへ3学年を同一フロア配置 → 学年ごとに別フロアへ

・ 普通教室と特別支援教室を同一フロアに設置できるよう配慮

22



③第2理科室の設置

理科の教科担任が2名配置される見込みのため、第2理科室の設置は必要

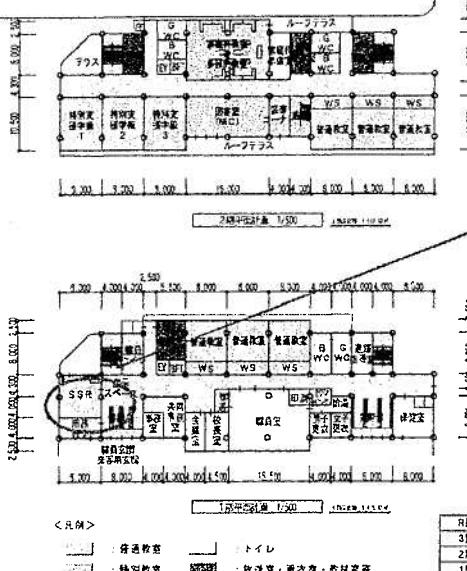
④SSR (スペシャルサポートルーム) の配置・大きさの変更

長江中学校 SSR教室と同等の学習環境の整備を希望する

SSRを校門に近い位置 クラウントに面していない場所へ変更

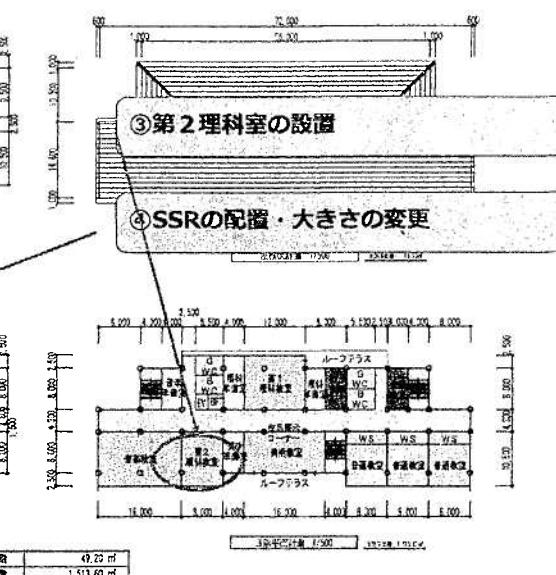
24

R6.7.19 中学校基本設計案



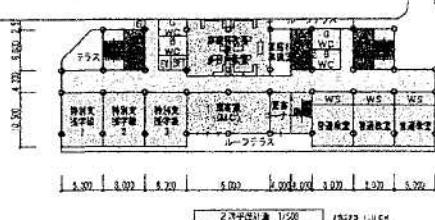
③第2理科室の設置

④ SSRの配置・大きさの変更

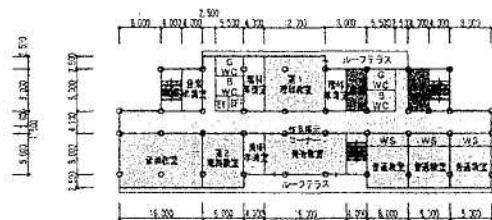
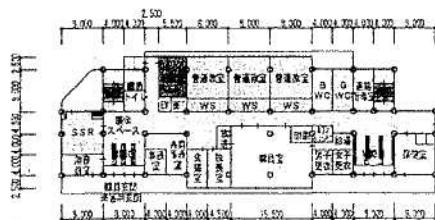
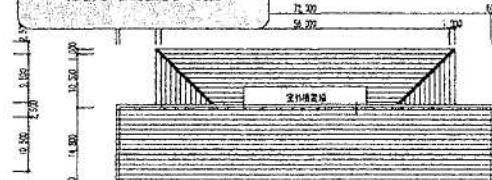


25

R6.7.19 中学校基本設計案



別添図面参照



RC造 3F建て
延床面積 4,550m²

130-00200	1/100	1998.1.10
-----------	-------	-----------

8點	49.20 ml
3點	1.512.60 ml
2點	1.512.65 ml
1點	1.472.60 ml
修正總量	4.550.00 ml

26

事業費について

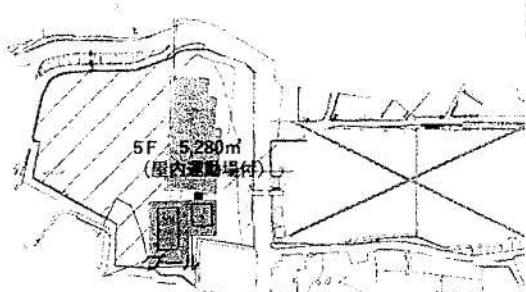
27

新校舎建築案 事業費資料 (R5.6.7 議員説明会時)

3小学校統合校（久保小、長江小、土堂小）

グラウンド側敷地へすべてを集約（校舎改築）

設置場所）長江中学校敷地内



グラウンド面積
4,160m²

総事業費 (内訳)	3,312,591千円
①校舎（屋内運動場付き） 5F建て 5,280m ²	2,708,640千円
②プール新設	195,000千円
③屋体 解体 ※アスベスト有想定	73,093千円
④外構工事・備品	193,000千円
⑤設計・監理費	130,000千円
⑥仮校舎リース（R7-R8）	12,858千円

28

**新校舎建築案 事業費資料
(R5.6.7 議員説明会時)**

2中学校統合校（久保中、長江中）



敷地内（敷地北側）へ校舎を改築

設置場所）久保中学校敷地内

事業費算定は、過去の工事による㎡単価に物価上昇率（×1.78）を乗じて算定
※発注時には物価上昇により20%程度の増額の可能性あり

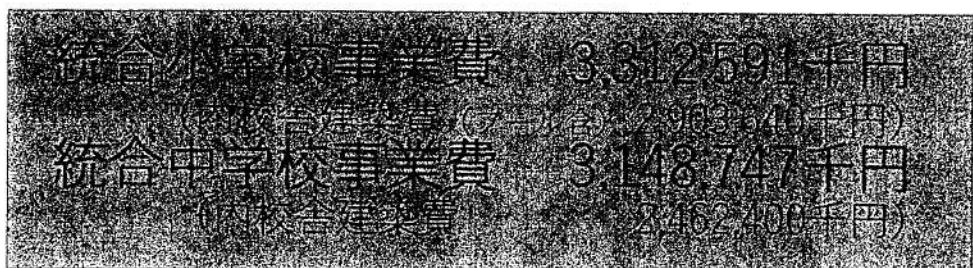
総事業費 3,148,747千円

（内訳）

⑦校舎 3F建て 4,800m ²	2,462,400千円
⑧既存校舎解体 ※アスペスト有想定	340,907千円
⑨外構工事・備品	193,000千円
⑩設計・監理業務	130,000千円
⑪仮校舎リース（R7-R8）	22,440千円

29

令和5年6月7日 議員説明会時点



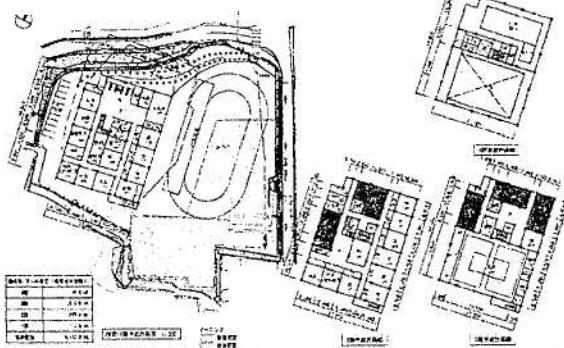
総事業費 6,461,338千円
(内校舎建築費 5,366,040千円)

30

新校舎建築案 事業費資料 (R6.7.19基本設計案)

尾道みなと小学校 新校舎整備

設置場所) 長江中学校敷地内



- ①②はR6.7現在の面積、m²単価で基本設計業務で試算の金額へ修正
 ③④は実施設計の段階で内容決定後、算定するためR5.8現在の金額を据え置き
 ⑤は、基本実施設計の契約額に、今後実施予定の地質調査、工事監理費を見込んだ額に修正
 ⑥は金額に変更なし

総事業費 3,190,996千円

(内訳)

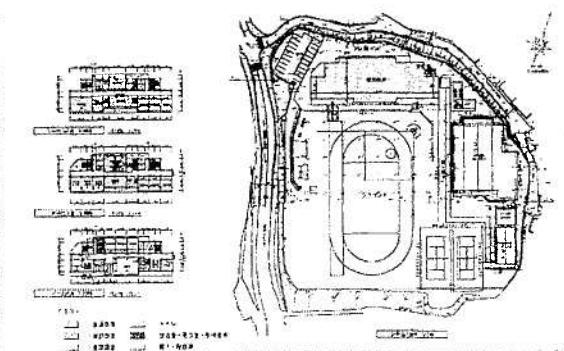
①校舎 (屋内運動場・プール屋上付) 4F建て 5,272m ²	2,799,432千円
②プール屋上設置	
③屋体 解体 ※アスベスト有想定	73,153千円
④外構工事・備品	193,000千円
⑤設計・監理費	112,553千円
⑥仮校舎リース (R7-R8)	12,858千円

31

新校舎建築案 事業費資料 (R6.7.19基本設計案)

尾道みなと中学校 新校舎整備

設置場所) 久保中学校敷地内



- ⑦はR6.7現在の面積、m²単価で基本設計業務で試算の金額へ修正
 ⑧⑨は実施設計の段階で内容決定後、算定するためR5.8現在の金額を据え置き
 ⑩は、基本実施設計の契約額に、今後実施予定の地質調査、工事監理費を見込んだ額に修正
 ⑪は金額に変更なし

総事業費 2,932,407千円

(内訳)

⑦校舎 3F建て 4,550m ²	2,275,000千円
⑧既存校舎解体 ※アスベスト有想定	341,191千円
⑨外構工事・備品	193,000千円
⑩設計・監理業務	100,776千円
⑪仮校舎リース (R7-R8)	22,440千円

32

令和6年7月19日時点 基本設計案

統合小学校事業費 3,190,996千円
 　　(内校舎建築費 2,799,432千円)
 　　プール込み

統合中学校事業費 2,932,407千円
 　　(内校舎建築費 2,275,000千円)

總事業費 6,123,403千円
(内校舎建築費 5,074,432千円)

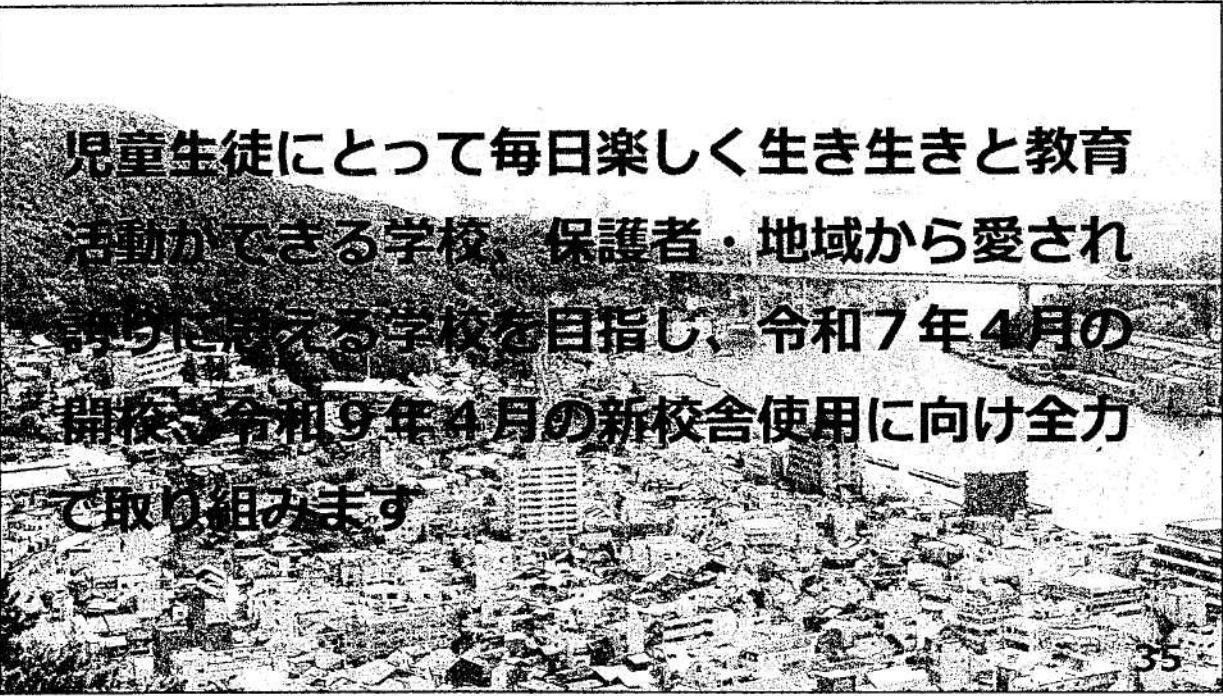
33

新校舍建築案 事業費資料 (事業費比較表)

	R5.6.7 議員説明会	R6.7.19 議員説明会	
尾道みなと小学校	校舎延床面積 5,480m ² (校舎5,280m ² +プール200m ²) 5F建て	校舎延床面積 5,272m ² (屋上プールを含む) 4F建て	【事業費減の要因】
尾道みなと中学校	事業費 3,312 (百万円)	事業費 3,191 (百万円)	①延床面積の減 (▲458m ²) ▲291 (百万円)
尾道みなと中学校	校舎延床面積 4,800m ² 3F建て	校舎延床面積 4,550m ² 3F建て	共用スペースの見直し と兼用や転用できる教 室の再検討による
総事業費	事業費 3,148 (百万円)	事業費 2,932 (百万円)	②設計業務の契約完了 ▲46 (百万円)
		計337 (百万円) の減	
6,450 (百万円)		6,123 (百万円)	

※総事業費については、R7当初予算要求時に改めて提示します。なお、物価上昇等の影響で事業費が変更となる可能性があります。

34



児童生徒にとって毎日楽しく生き生きと教育活動ができる学校・保護者・地域から愛され親しまれる学校を目指し、令和7年4月の開校と令和9年4月の新校舎使用に向け全力で取り組みます

35